

長井市立長井北中学校空手道授業（報告）

- 1、期 日 令和6年11月27日（水） 第3学年授業（3学級）
※2校時（9：45～10：35） 3年生2組 28名
※3校時（10：45～11：35） 3年生1組 28名
※4校時（11：45～12：35） 3年生3組 28名
- 2、場 所 長井市立長井北中学校 武道場
- 3、対 象 者 3年生84名
- 4、学習内容 空手道礼法（立礼、座礼）、立ち方、突き、形演武、新聞紙割
全空連発行の「Let's 空手道」を生徒に配布
- 5、指 導 者 講 師 緑川 寿幸（山形県空手道連盟副理事長・普及指導委員長）
遠藤 隆夫（山形県空手道連盟理事長）
飯野 美智子（山形県空手道連盟理事・普及指導委員）
演武者 青木 朱莉（東海大山形高等学校空手部員）
- 6、詳細内容

今回の空手道授業はスポーツ庁委託「令和6年度令和の日本型学校体育事業構築支援事業武道推進モデル校事業」として実施されました。これは山形県内4地区で各1校が「武道推進モデル校」に指定され、選択必修種目（柔道・剣道・相撲）に加えて、それ以外の種目を1種目以上選択して実践研究するものです。今回は置賜教育事務所からの依頼で長井北中学校の3年生3クラスを対象に授業実践しました。

初めに空手のイメージを聞くと、空手そのものを見たこともない生徒が多く返答に困っていました。初めに礼法を説明し、実際に突きの実技を行いました。2グループで気合の大きさを競い合いながら、何度も行いました。声が出ない所から大きな気合を入れ突きが行えた時は、達成感を味わっていたようでした。

また、迫力のある形演武を見て解説を聞いた後は、空手道に良い印象を持ってもらえたと感じました。

最後に新聞紙割の見本を見てもらってから実技を行いました。新聞紙を持つ方と突きで新聞紙を破る方の二人一組毎に突きを体験しました。上手く破れない時は、距離や拳が当

たる位置を変え、全員が新聞を破れまで行いました。

生徒からは「楽しい」「カッコいい」「蹴りなどもっと実技をやってみたい」等の感想がありました。空手道に好印象・興味をもってくれたことは大変嬉しく思います。

来年以降は、体験だけでなく基本形ができるよう数時間頂けるよう教育事務所に働きかけを行い、空手道授業が正課の武道授業として実施されるよう空手道の普及に引き続き取り組んでまいります。

報告者：飯野 美智子